

議会 だより

北九州市暴力団排除条例も可決

6月議会は6月10日から17日にかけて行われました。

わが会派は積極的に質問したい議員ばかりで毎回競争率が高い中、今議会は私が本会議一般質問に立たせていただき、多方面から質問要望をしました。内容は以下の通りです。

また国の内示増に伴って、経済対策として道路の新設や街路事業、太陽光パネル設置、雇用創出のため、障害者スポーツセンター整備事業などの議案が提案され補正予算約78億円が可決しました。また北九州市暴力団排除条例も可決、8月18日を「市民暴排の日」と定め啓発行事を行う事、行政、市民、事業者の暴排への取り組みを「責務」として明記することとなりました。



1. 本市の成長戦略と政府の関係について

☆総合特区について

国が検討中の日本で1ヶ所となる環境を中心とする「総合特区」に何としても認定されるよう全力を上げて取り組むべきとの質問に、市長から「この総合特区、そして環境未来都市、この地域指定に向けて、産・学・官・民、一体となった取り組みを進め最善を尽くしてまいりとの力強い答弁がありました。

・医療観光について

・水ビジネスについて

・北九州市と政府との関係について

2. 子育て教育日本一のまちづくりについて

- ・不登校対策について（不登校児童生徒療育キャンプの通年化）
- ・玄海青年の家など本市の青少年施設の今後の改築計画について
- ・読書活動の推進について

◦学校図書館職員配置の取り組み状況について

☆子ども司書について

本当に興味のある小中学生が大人の司書のような専門知識をつけ本の面白さを広める「子ども司書認定制度」を提案したところ、柏木教育長から「本に関心を持つとともに読書活動の担い手づくりにもつながるとして「次期子ども読書活動推進計画の中で実施にむけて検討したい」と前向きの答弁でした。

◦学校図書館のデータベース化について

3. 自転車の利用しやすいまちづくりについて

・コミュニティサイクル事業について

・3人乗り自転車の貸し出し・助成制度について

・洞海湾一周自転車歩道の整備について

4. 若松のまちづくりについて

☆高塔山公園への道路の拡幅と安心して登れる歩道の整備について

今年もあじさい祭りで多くの来訪者があった高塔山ですが、登る道は普通車がぎり離合できるかどうかという道幅で、歩道も整備されていません。できるだけ早く道路の拡幅と安心して登れる歩道を作ることについて尋ねました。地元の皆様と協議を行いながら、今年度中に詳細設計を行い、平成23年度には工事に着手し、早期完をめざしたいとのことでした。

・若松の交通の結節点づくりについて（葦平通りについても要望）

☆市立若松病院の問題について

この5月に産業医科大学病院への売却が決まりましたが、今後市民に愛される若松区の中核病院として安定的な運営を行っていく上で、市がどうかかわっていくのかと、休止している産科の再開についてを尋ねました。市はこれからも若松病院が安定的に運営され地域の中核病院として機能するよう積極的に関わっていきたい。それから産婦人科に関しては設置する予定ではあるが、分娩についてはその連携体制の中で、他の病院・診療所と連携して取り組むと聞いているとのことでしたので、できるだけ分娩ができるように働きかけていただきたい。また八幡西区の産業医科大学病院へのシャトルバスをぜひ実現していただきたいと強く要望しました。



ひびきコスモス運動場オープン 更にスポーツ環境の整備を

さて、今年の6月にはFIFAワールドカップで、サッカー日本代表が感動的なチーム力で試合をし、大いに盛り上りました。

これまで興味を持っていなかった4歳のわが子まで大きくなったらサーカーの選手「ゴールキーパー」になりたいというくらい、にわかにサッカーファンも増えたのではないかと思います。

だからということではありませんが、日本がサッカーやラグビーなど強い選手を育成するためには芝生のグラウンドの整備がもっと必要です。以前から質問要望している校庭や公園の芝生化ですが、最近多くの自治体で取り組みが始まっています。

この7月に、若松には皆様からの強い要望をいただいていたソフトボールでは8面の試合ができる

グランド（ひびきコスモス運動場）が整備されました。
今後校庭や公園の芝生化の促進も頑張っていきたいと思います。

※ひびきコスモス運動場の問い合わせは
ひびきコスモス運動場管理事務所
電話：093-751-4071

